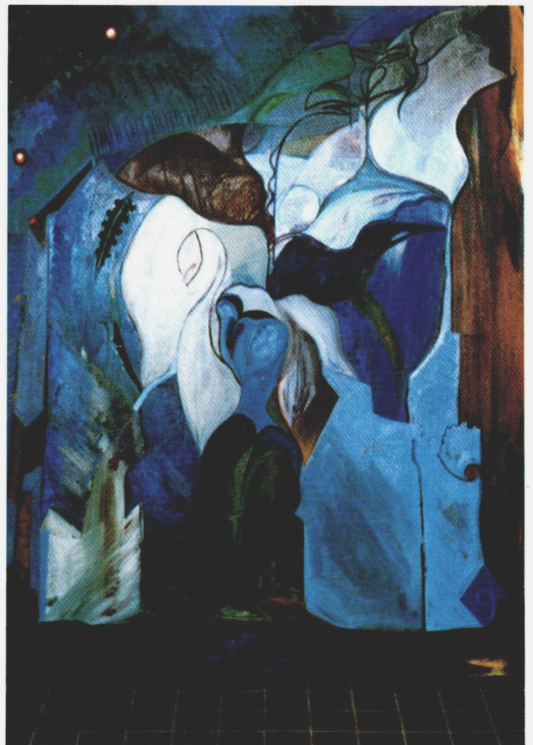




花人



無題

絵画 心象風景 (イメージの追求と表現)

栃 沢 由 紀 子

A Mindscape Pursuit and Expression of Image

Yukiko Tochisawa

1. 息・生きる

(1) 油絵 30号

(2) イメージは、今までの自分についてまわっていた“しがらみ”から抜け出して、これから新しく始まる自分の未来に、息を吹きかけようとしているところです。

筆勢で、心のリズムを表現しました。



2. 昨日・今日・そして明日へ

(1) 油絵 60号

(2) 昨日の過去から、今日、そして明日への未来へと動きだそうとしている自分をテーマに左側のグレーと、緑色の部分は、過去を表現し、中央に抱きかかえているものは、今日を抱いています。バックは、筆勢に、クシを使って、風の動きを表現しました。

3. 習作

(1) 油絵 100号

(2) この作品は、卒制の時に描いたものですが形態が気に入っていたので、少し手なおしをしてみました。

テーマは、人間の一生で、生まれてから、死んでいくまでの、人生のうつりかわり、“生々流転”を描きました。

色彩は、自分の感じたままの色で、上部の赤は、わきあがる力、下部のグレーは、死を意味し、つぼの中は、人生を表現しました。

2. 昨日・今日・そして明日へ



3. 習作



4. 習作

(1) 油絵 100号 50号

(2) なにもテーマをもたずに、筆にまかせて描いた作品ですが、100号の方は、形にまとまりがつかなくなり、50号の方は、色彩の方にまとまりがつかなくなり、自分の油絵に対する表現力の未熟さや、時間をおいて描いた勢いのなさがでた作品です。

5. 花人（はなびと）（カラー頁）

(1) 油絵 80号

(2) 昆虫図鑑をみていたら、たくさんのおもしろい形をした昆虫がのっていたので、この形をつかって、自分なりに作品をつくってみようと思い、人間と昆虫の形態をあわせて、作品を制作しました。

しかし、画面の構成の方に、頭がいてしまい、自由におもしろい形を表現できずに仕上げてしまったので、もう一度、チャレンジしてみようと思っているテーマです。

6. 無題（カラー頁）

(1) 油絵 100号

(2) MAX・ERNST の作品で、“森の中の鳥”という作品があり、それを、自分なりにアレンジしてみようと思い描きました。

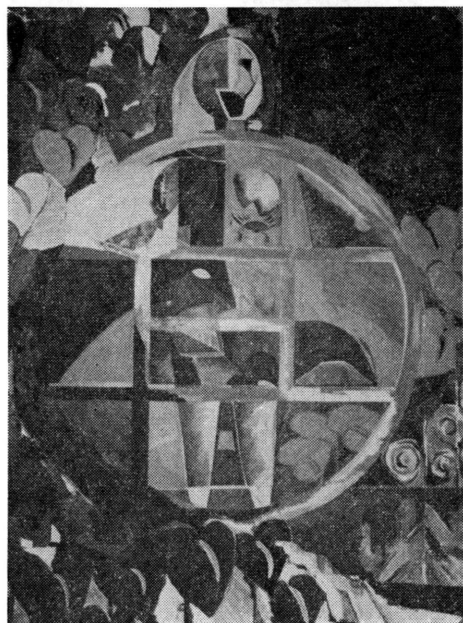
7. 無題

(1) 油絵 60号

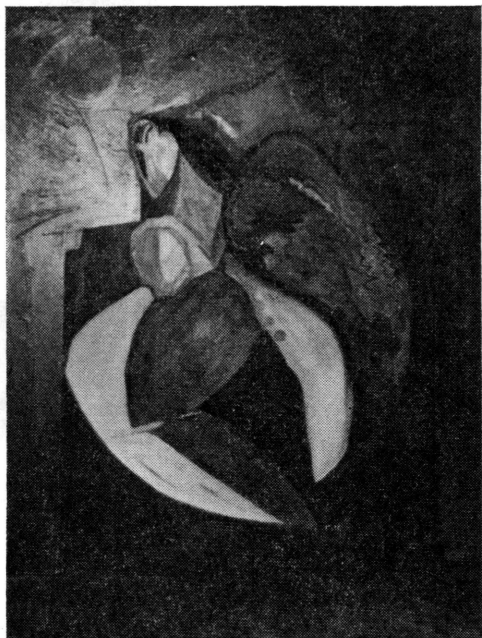
絵画心象風景（イメージの追求と表現）

- (2) MAX・ERNST の作品で、“暗い森と鳥”
のアレンジで、鳥のイメージを表現して描き
ました。

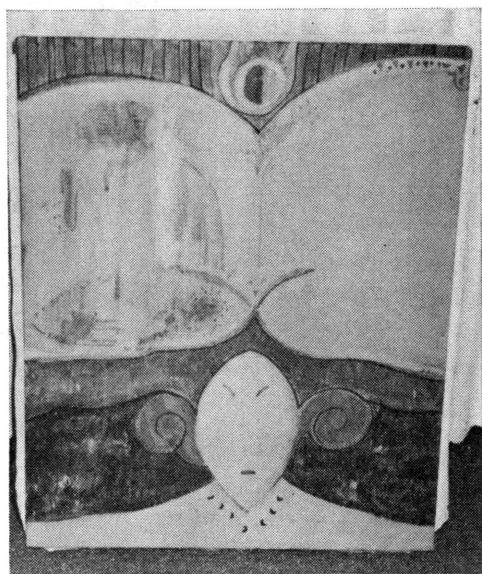
4. 習作 100号 50号



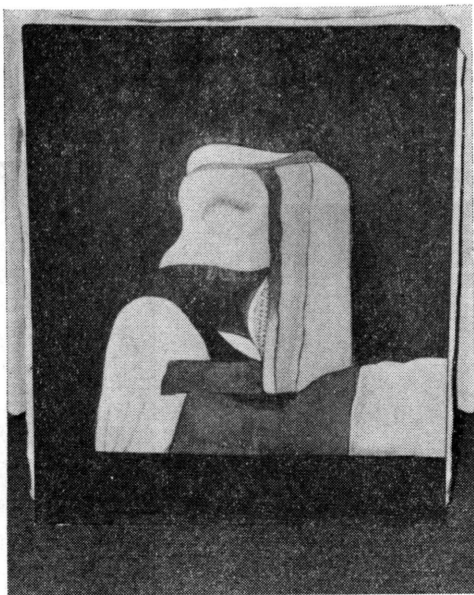
7. 無題 60号



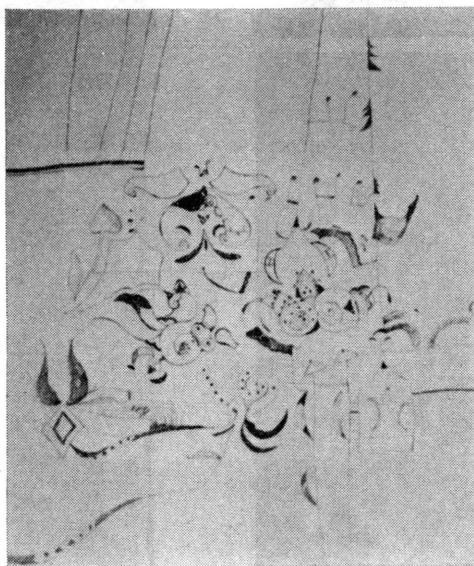
8. 習作 8号



9. 習作 8号



10. 習作 8号



8. おわりに

以上が、今まで、2年間に描いた作品です。最初の頃は、どうしても自分の感情を、何かに表現したいと思い、思うままの色、思うままの形で、自分なりの作品をつくってきました。自分の心、気持ちを、キャンバスにはきだすんだという気持ちがみなぎっていました。

しかし、そういう気持ちの感情の波がおさまらず、頭で考え構成し、キャンバスに描こうとすると、テーマがきまらず、ただ描いているだけの作品にみえてしまい、とても未熟なつまらな

い作品になってきました。

今の私は、何が好きで、何が嫌い、何が良く、何が悪いという、自分の中での客観的な価値基準はあっても、自分がどういうテーマで、表現で、色でという、自分のことになると、暗中模索の状態です。

これからは、この暗中模索の状態を、しばらくは、油絵にこだわらずに、他のいろいろな画材をつかって、自分の表現したいものにあう画材を、気おわずに、見つけて、制作していきたいと思います。